

令和8年度 シラバス

教 科	芸術	科 目	美術Ⅰ	学 年	第1学年	学 科 型	普通科・商業科
単位数	2単位	教科書	新・高校生の美術1（日文）				
副教材							

学習目標	美術 I の学習は、創造的な活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目標としています。 絵画や彫刻、デザイン(平面構成)、映像メディア（動画や画像の制作）などの制作を通して表現を工夫したり、作品の鑑賞からその良さを感じ取ったりする活動を行います。
------	---

キャリア教育の視点	美術が生活の一部となっている現在、楽しみ方は様々だと思います。基礎となる知識や技術があれば、今までより美術を身近に感じ、自分に合った楽しみ方を発見することもできると思います。卒業してからも美術に親しむために、知識を身につけ、感性を磨きましょう。
-----------	--

学習計画及び内容				考 査
1 学 期	4 月	鉛筆・用具の使い方	鉛筆の基本的な技能を学びます。	作品提出 作品提出 合評会
	5 月	絵画「鉛筆デッサン」	基礎造形の描写練習をします。	
	6 月	デザイン「平面構成」	テーマを表現する配色や形を考え、「平面構成」を行います。	
	7 月	鑑賞 完成作品鑑賞	相互鑑賞で作品の良さを見つけます。	
2 学 期	8 月	絵画「感情を表現しよう」	主題を決めて絵画を制作します。	作品提出 合評会 作品提出
	9 月		立体的な表現について、考え表現する学習を行います。	
	10 月		様々な彩色技法を体験し自分に合った方法を身に付けます。	
	11 月	鑑賞 完成作品鑑賞	各自の作品を発表します。	
	12 月	彫刻「身近なものを作ろう」	紙粘土、針金、木材等を利用して立体造形をします。	
3 学 期	1 月	映像メディア表現「ロゴマーク」	コンピュータを利用して「ロゴマーク」を制作します。	合評会 作品提出
	2 月			
	3 月	鑑賞 完成作品鑑賞	それぞれの良さを相互評価します。	

学習の方法	A 表現は「絵画・彫刻」「デザイン」「映像メディア表現」の各分野の制作を行います。造形要素を理解する基礎練習を行った上で、自分の発想を生かして、楽しみながら作品を作っていきます。 B 鑑賞は、1 年生全体の作品をお互いに鑑賞し、その良さを見つける「相互鑑賞」と日本や世界のそれぞれの時代に応じた作品鑑賞しその良さや作者の意図や自分の感じたことを発表する「作品鑑賞」を行います。
-------	---

評価の仕方	定期考査は行わない。 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	A 表現（完成作品、創造的な技能） A 表現（主題の生成、サムネイル、ラフスケッチ、コンセプト用紙） B 鑑賞（鑑賞活動、発表内容） A 表現（活動状況、提出物、発表、作品の工夫） B 鑑賞（鑑賞の発表、協働的な活動状況、作文）	B 鑑賞（ノート、小論文）
-------	--	--	---------------

備考	
----	--